

補助金対象事業報告書(平成24年度)

法人名	特定非営利活動法人 東京海難救助隊 (平成 18 年 2 月法人設立)		
事業名	体験航海と東京湾の環境学習		
事業費	145,000	補助金額	81,600

1 助成対象事業費内訳(実績)

収入		予算額	決算額	決算額内訳
	団体負担金	47,000	47,400	
	参加費・資料代等	16,000	16,000	資料代 + 保険 : 300 + 500 = 800 * 20
	その他の収入			
	NPO支援基金助成	81,600	81,600	
	計	144,600	145,000	

支出	費目		予算額	決算額	決算額内訳
		報償費		20,000	送迎車両等の謝礼@5,000 * 2台 * 2回 = 20,000
		旅費	12,000	12,000	交通費 @1,000*6 * 2回 = 12,000円
		備品費・消耗品費	23,000	36,178	募集チラシ式 印刷インク代5980円 + 資料作成等費用一式 5000円 + デッキワイヤーロ - 安全保護ビニールカバー等装着8593円コピー費@300 * 30部 = 9000円プランクトン濃縮装置 + 5670円採水バケツ420円 + 桝水(採水用部品)1115円安藤氷室400円
		役務費	51,600	47,137	燃料代@120 * 140L * 2回 = 33600円オイル代2100円通信連絡費(切手120 * 30 = 3600封筒400 + チラシカラーコピー30部3600円 + 電話等400 = 8000円)保険3437円
		使用料・賃借料	48,000	28,000	濁度計(プランクトン量測定)@5,000 * 2回 = 10,000円顕微鏡 @5,000 * 2回 = 10,000円透明度板他 @4,000円 * 2回 = 8,000円
		その他の経費	10,000	1,685	(有)潮風プランクトン濃縮装置送料1160円 送金料525円
		計	144,600	145,000	

2 事業の目的・内容

目的	<p>1 東京湾は都民にとって身近な水辺であるが、多くが港湾施設であるため、陸上からのアクセスは制限されている。当事業は、東京湾を小型船舶で航行して港湾施設を海から見てその役割を説明して理解してもらう。</p> <p>2 東京湾の海水は、富栄養化によって汚れていると思われる。しかしこの原因は、海域の生産性の基となっている多様な「プランクトン等の生き物」であることを海水を採取して顕微鏡で観察するなどして理解し、海食物連鎖等の学習を行う。</p>
計画内容	<p>1 体験航海中に東京港の役割や下水道整備のことを学習する。</p> <p>2 調査：水温、気温、透明度などを測定して海水の採取</p> <p>3 プランクトン濃縮装置でプランクトンを採取</p> <p>4 顕微鏡で観察 写真撮影</p> <p>5 プランクトン図鑑作成などを参加者で行う。</p>

3 事業の実施状況

	事業計画時(予定)	事業実施時
実施状況	<p>1 実施時期 7月下旬～8月下旬の夏休み期間に2回実施(天候・海象等の影響により9月に変更もあります)</p> <p>2 実施内容 当隊隊員4名が操船・監視・環境学習担当。 採水・観測等の船上作業は隊員の指導で参加者との協働作業を行う。 募集人員 ・救助船「はばたき」の定員14名の範囲内(各回10名(子供は0.5人)) 学習機材 ・透明度版、顕微鏡、温度計、プランクトン濃縮装置など 環境学習の概要 ・プランクトン採取試料を検鏡・デジカメ撮影 ・最近採取したプランクトン写真等からテキストを作成配布 ・海食物連鎖をわかり易く解説したテキストを作成 海の生物循環(食物連鎖)について学習</p>	<p>実施状況 第1回：平成24年8月：小学生7名、保護者5名、合計12名 第2回：10月に予定していたが、当日24風雨等で参加予定者が連絡なく集まらず延期とした。 第2回：平成25年1月参加者小学生1名、保護者他3名、合計4名</p> <p>2 実施概要 操船、コース：予定どおり実施 船上作業：予定通り実施 参加者数：上記のとおり 環境学習の概要：予定通り実施 実施状況を作成して資料として添付した。</p>

4 実施事業の効果・成果

	事業計画時の「期待される効果」	事業実施後の「実際の効果・成果」
効果・成果	<p>1 環境学習テキストの配布 港湾施設は経済的・社会的な重要性の他災害等の緊急事態にも対応する機能があることを学ぶ。一方で埋立てによって渚がなくなり、海水浄化と小魚等の生息環境に問題があることを学ぶ。海水の汚れと透明感がプランクトンは生息状況によって海水の色が変わること、魚介類の餌として重要であることなど、汚れと資源の生産の違いを参加者との協働で行う簡単な測定と観測で理解を深める。</p> <p>都民として東京湾の現状を理解し、水域の環境保全の方策等を振り返りの時に話し合うなどして理解を深める。2 プランクトンの写真集を配布(環境学習テキストに添付) 採取した海水1リットルをプランクトン濃縮装置で濃縮 基地で検鏡してデジカメで写真にとりプランクトンの「写真を参考にプランクトンの種類を知る。海域の食物連鎖のテキストで採取したプランクトンが一次生産者(植物プランクトン)と一次消費者(動物プランクトン)であることを学習する。3 食物連鎖の学習</p>	<p>1 環境学習テキストの配布 航海中に東京港の港湾施設に関して配布したテキストの概要を説明して学習できた。夏の体験航海の時は、赤潮が発生していたので採取した海水とプランクトン濃縮装置のろ過水を目視で見比べて水が茶色く見えたのはプランクトンが影響していることを確認でき、納得していた。2 プランクトンの検鏡と図鑑作り 濃縮したプランクトンを顕微鏡で観察してテキストの写真集を参考に、ほとんどが植物プランクトンであることに気付いた。さらに倍率をあげて検鏡すると素早く動き回る動物性プランクトンも多数見ることができた。3 海域の食物連鎖の学習 テキストで食物連鎖の学習をして理解できた様子だった。しかし、東京湾の役割や食物連鎖を学習することができなかった。参加者の振り返り用紙のアンケート結果から体験航海と環境学習の事業にはおおむね満足をいただいた。</p>

5 自己評価

自己評価 1	事業は当初の予定どおり実施できましたか <input type="checkbox"/> できた <input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった
	1 参加者の募集と応募に関して ホームページなどで参加者を募集したが応募が少なかった。そのため町会や知人のつてなどの口コミで今回のような結果となった。 これまで対象を親子中心に行ってきたが、他の団体との共同事業なども含めて検討する必要があると思われる。 2 事業内容について 募集対象者に対して環境学習中心から体験航海中心に変えるなど検討する必要がある。
自己評価 2	当初に想定していた「期待される効果」をあげることができましたか <input type="checkbox"/> できた <input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった
	事業参加者には期待する効果があったと考えているが、2回目の参加者数が少なかった。この点の改善が必要。 関係機関と協議して事業効果改善につなげたい。
自己評価 3	今回行った事業を通して、理解者や支援者は広がりましたか <input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> 広がらなかった
	対象を小学生であったため保護者同伴が前提となった。したがって限られた世代やグループとなった。 多くの区民の方に東京湾の港湾施設や環境などの実態を肌で感じられる体験航海型の事業が好ましいと思われる。

6 今後の課題と活動について

今後の課題と活動	当会の内部でこれまでの総括をお行い、今後の事業に対する方針を検討して、関係機関の方々の協力を得ながらさらに効果的な活動プログラムを検討したい。
----------	---

7 普及啓発活動について

普及活動	<p>今回はホームページなどで事業に広報や募集を行っていたが、今後は杉並区のフェスタ等でも体験航海事業の宣伝などを行うこと。 関係機関との連携事業、他の団体との共同事業の可能性の検討等を行いたい。</p>
-------------	--

8 活動状況について

NPO法人東京海難救助隊は、定款の設立目的(第3条)にもある通り
広く一般市民を対象として良好な海洋環境の重要性の普及と安全で秩序ある海洋レジャーの普及発展のために東京都、千葉県、神奈川県東京湾沿岸海域において、一般市民に対する体験航海等の実施による海洋環境知識の啓蒙、海難事故や地震等の災害発生時の救助救援の助成活動、海洋レジャーのマナー向上活動等を行うことにより、海の素晴らしさや楽しさと同時に海が持つ陸とは異なる厳しさを広め東京湾内の環境の保全に寄与することを目的とする。
当隊の基地は大田区羽田地先に置いているが、本部が杉並区にあることにより、今後も区民等を対象とした事業を実施していきたい。

